大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2021年第25週(6月21日~6月27日)

今週のコメント

~新しい生活様式の実践~ 手洗い、マスク着用、身体的距離の確保、密閉・密集・密接の回避が重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 減少続く」

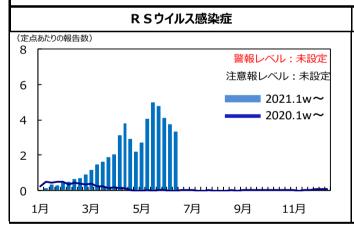
第25週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,541例であり、前週比5.7%減であった。 定点あたり報告数の第1位はRSウイルス感染症で以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽

頭結膜熱・突発性発しんの順で上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ3.34、2.65、0.63、0.44・0.44 である。

RSウイルス感染症は前週比11%減の655例で、南河内6.13、泉州5.47、堺市3.32、豊能3.30、大阪市南部3.17であった。

感染性胃腸炎は2%減の519例で、南河内4.31、中河内3.75、大阪市南部3.50である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は1%減の123例で、南河内1.69、大阪市南部1.22、中河内1.10であった。 咽頭結膜熱は2%減の87例で、南河内0.75、中河内0.70、大阪市北部0.64である。



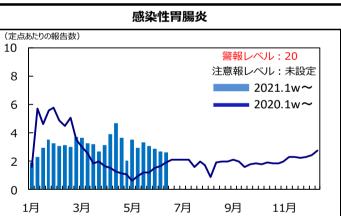


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2021年第25週6月21日~6月27日)

第25週 の順位	第24週 の順位	感染症	2021年 第25週の 定点あたり 報告数	前週比増減	2020年 第25週の 定点あたり 報告数	2021年第25週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	RSウイルス感染症	3.34	11%減	0.00	1歳_31%
2	2	感染性胃腸炎	2.65	2%減	1.92	1歳_17%
3	3	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	1%減	0.42	2歳_17%
4	4	咽頭結膜熱	0.44	1%減	0.06	1歳_40%
5	5	突発性発しん	0.44	26%增	0.55	1歳_59%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2021年第10週まででインフルエンザのコメントを終了しました。

第25週のコメント

〜腸管出血性大腸菌感染症〜 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。

3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる(出血性大腸炎)。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。

初夏から初秋にかけて好発する感染症である。

<u>感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)</u> 腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

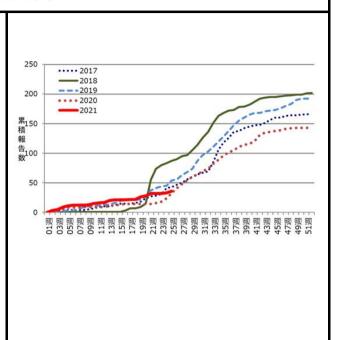


表 2. 大阪府全数報告数 (2021年 第25週6月21日~6月27日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】発生動向調査>全数報告 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3				2			1		36
4 類感染症	レジオネラ症(肺炎型) レジオネラ症(無症状病原体保有者)	1 1					1			1	42
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3		1	1		1				77
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1								50
5 類感染症	梅毒	4				1		1		2	316
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1								1	13
	百日咳	1								1	15
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症 694 2020年1月以降累計 103,134										
 結核	結核 新登録患者数:43名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 17名)										
(2021年4月分) (府内累積報告数 276名、内 肺・喀痰塗抹陽性 94名)											

(2021年6月29日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の『11月1日まで』と『11月2日以降』をご覧ください。